



いたびつ **板櫃** <校訓>  
真理の探究  
自主躍進



令和5年9月11日(月)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市小倉北区白萩町8番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>  
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～  
<目指す生徒像>  
① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)  
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)  
③ 思いやりの心もち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)  
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

## 「板櫃中の生徒の『よさ』と読んでほしい記事」

先日、キャプテン、副キャプテン、部長、副部長(部活によっては代表者)を集めて、いろいろな話をしました。「挨拶の大事さ」「目標を立てることの大切さ」「熱中症対策」「他の学校から好かれるチームになるには」など、短い時間でしたが、内容のある話をしました。しっかり目を見て聞く姿はとても頼もしく感じました。先生が10年前まで板櫃中で勤務していたことは知っていますね。久しぶりに板櫃中に戻って、改めて板櫃中の生徒の「よさ」を毎日感じているのは先生だけでしょうか。まず、朝早く来る生徒が多いこと、授業のチャイム席もきちんと守れること、昼休みに元気に遊んでいること、授業中の態度が素晴らしいこと、(生徒の中には、校長室を覗いて挨拶をしてくれること、校長先生に英語のプリントを持ってきてくれること)・・・このような毎日を一生懸命過ごしている姿に感動すら覚えます。「あたりまえのこと」を「着実に」これが板櫃中の「よさ」です。北九州で一番です!いつも言っていますよね、自信とプライド、素晴らしい、優しい生徒たちです!

さて、今日は(少し前の話ですが・・・)2年前に西日本新聞に掲載された「春秋」から紹介します。4月1日といえば、エイプリルフールです。この日は「うそ」をついてもいい日とされています。「うそ」は、基本的には「人を傷つけるもの」です。が、今日紹介する「うそ」はみんなを「幸せにするうそ」です。生徒のみなさんも保護者の方と一緒に読んで、考えてみましょう。

(

